

鳩野 洋子

国立保健医療科学院公衆衛生看護部 室長

団塊世代の退職後の健康づくりにむけたアプローチに関する基礎的研究

団塊世代の男性の健康づくりにむけた支援方法を考えてゆく一環として、インタビュー法を用いて男性が地域活動に至るプロセス及び男性が地域活動に参加するために必要な要件を明らかにするとともに、男性が退職後も健康的な生活を送るための必要と考えられる知識・技術について記述調査を行い、整理した結果について有識者への郵送調査を行うことで退職男性支援プログラムの案の作成を行った。このほか産業保健従事者に対するインタビュー調査も実施した。16名への男性へのインタビューの結果、男性が地域活動に参加するためには、地域活動への志向性の有無にかかわらず、その情報へアクセスが重要であること明らかになった。また知識・技術に関しては172名から意見を聴取し、1007項目の意見を質的帰納的方法により7つの大カテゴリ、16のカテゴリ47のサブカテゴリに整理した。郵送調査の結果を考慮し、退職前17項目、退職後20項目のプログラム内容案を提示した。